

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公表番号】特表 2006-508056 (P2006-508056A)

【公表日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-010

【出願番号】特願 2004-532947 (P2004-532947)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/56	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/54	(2006.01)
C 0 7 K	14/715	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
A 6 1 K	31/56	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	9/10	

A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/10	1 0 3
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	37/02	
C 0 7 K	14/54	
C 0 7 K	14/715	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月8日(2006.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心臓血管疾患を有する患者における生物学的に活性な内因性の4-1BB又は4-1BBリガンドの量を減少させるための療法組成物であって、治療上有効な量の4-1BBアンタゴニストを含む療法組成物。

【請求項2】

4-1BBアンタゴニストが、可溶性4-1BB、可溶性4-1BBリガンド、4-1BBに特異的に結合する拮抗性(antagonistic)抗体、及び、4-1BBリガンドに特異的に結合する拮抗性抗体からなるグループから選択される、請求項1の組成物。

【請求項3】

心臓血管疾患が、不整脈、心筋炎、心膜炎、心筋症、慢性心臓疾患、心筋梗塞及びアントラサイクリンを用いた治療の結果の心毒症からなるグループから選択される、請求項1の組成物。

【請求項4】

アンタゴニストが、さらに免疫グロブリンFcドメインを含む、可溶性4-1BBリガンドである、請求項2の組成物。

【請求項5】

4-1BBアンタゴニストが、4-1BB又は4-1BBリガンドに特異的に結合する拮抗性(antagonistic)抗体である、請求項1の組成物。

【請求項6】

抗体が、4-1BBリガンドの細胞外ドメインに特異的に結合する、請求項5の組成物。

【請求項7】

抗体がヒト抗体である、請求項5の組成物。

【請求項8】

抗体がヒト抗体である、請求項5の組成物。

【請求項 9】

抗体が単鎖抗体である、請求項 5 の組成物。

【請求項 10】

注射、静脈内投与、経口投与、肺投与、経鼻投与、半透膜埋め込み体及び経皮投与からなる群から選択される投与の態様に適している、請求項 1 の組成物。

【請求項 11】

持続放出型において投与されうる、請求項 10 の組成物。

【請求項 12】

非ステロイド性抗炎症薬；鎮痛薬；全身性ステロイド；炎症性サイトカインのアンタゴニスト；抗炎症性サイトカイン；化学療法剤；脂質低下薬；血圧調節薬；アンジオテンシン変換酵素阻害剤および／またはペルオキシソーム増殖因子活性化受容体リガンドからなる群より選択される 1 以上の化合物との組合せにおいて投与されうる、請求項 1 の組成物。

【請求項 13】

対象が、アントラサイクリンを用いた治療の結果の心毒症に罹患している、請求項 3 の組成物。

【請求項 14】

アントラサイクリンが、ドキソルピシン、ダウノルピシン、エピルピシン、イダルピシン及びミトキサントロンからなるグループから選択される、請求項 13 の組成物。

【請求項 15】

アントラサイクリンを用いた治療の前に、同時に、又は後に投与されうる、請求項 13 の組成物。

【請求項 16】

対象における心臓の症状を改善するのに十分な量で投与されうる、ここにおいて、心臓の症状は、不整脈、心筋炎、心膜炎、心筋梗塞及び心筋症からなるグループから選択される、請求項 13 の組成物。

【請求項 17】

対象が癌患者である、請求項 13 の組成物。

【請求項 18】

対象の心臓組織におけるアポトーシスを予防する又は減少させるのに十分な量で投与されうる、請求項 13 の組成物。

【請求項 19】

4 - 1 B B リガンドのアンタゴニストが、4 - 1 B B リガンドに特異的に結合する拮抗性抗体である、請求項 13 の組成物。